

※詳細は別紙に記載

記者発表資料

「東九州自動車道」^{きよたけみなみ}清武南IC～^{にちなんきたごう}日南北郷IC間（延長17.8km）
開通1年後の交通状況及び整備効果について

～シームレスな高規格道路ネットワークの形成により、新たな人口・産業圏域が形成～

国土交通省では、経済成長と国土安全保障を実現するシームレスな高規格道路ネットワークの実現にむけ、東九州自動車道の整備を進めております。※

令和5年3月25日（土）に「東九州自動車道」^{きよたけみなみ}清武南IC～^{にちなんきたごう}日南北郷ICが開通し、東九州自動車道（^{きよたけ}清武JCT～^{にちなんとうごう}日南東郷IC）により宮崎市と日南市がつながりました。

開通からおおよそ1年後の交通状況や、既供用区間を含めた開通効果（日常・観光・医療など）をお知らせします。

※（参考）WISENET2050 シームレスネットワークの構築・地域安全保障のエッセンシャルネットワーク
https://www.mlit.go.jp/road/wisenet_policies/

<交通量の変化>

- ・宮崎市方向と日南市方向の南北を往来する交通量の約6割が東九州自動車道を利用

<所要時間の短縮等>

- ・宮崎市・日南市間の通勤時間は往復で約46分短縮し、交通事故が約30%減少

<防災・医療・観光・産業活性化に寄与>

- ・令和6年8月に発生した日向灘を震源とする地震時においても、通行止めとなった国道220号の代替路としての役割を発揮
- ・日南市から宮崎市への緊急搬送時の速達性・走行性が向上
- ・東九州自動車道と国道220号沿線の観光地を周遊するネットワークが構築され、道の駅「くしま」の来場者数が1.5倍に増加
- ・骨格軸の形成により、新たな人口・産業圏域が形成（IC付近に日南市内最大規模の工業団地が計画）

発表記者クラブ

宮崎県政記者クラブ

お問い合わせ先：

国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所 TEL 0985-24-8221（代表）

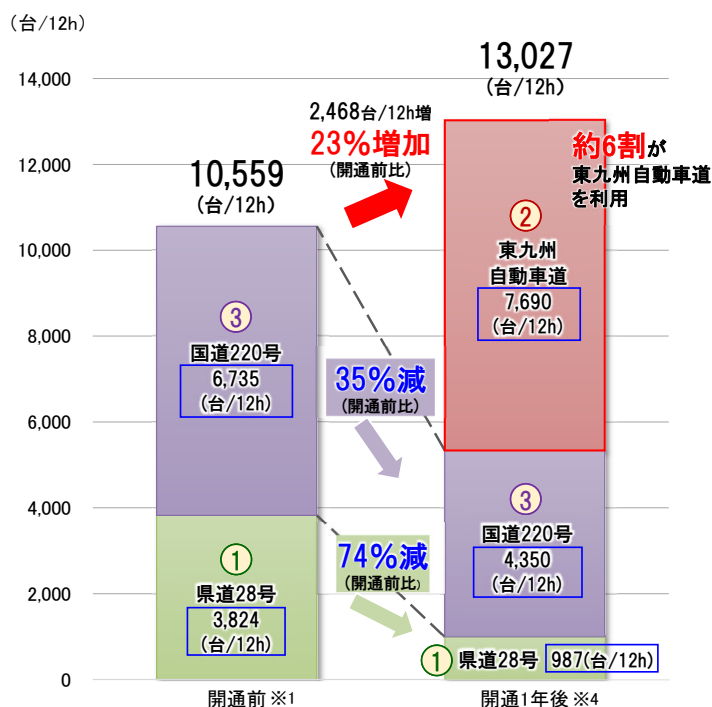
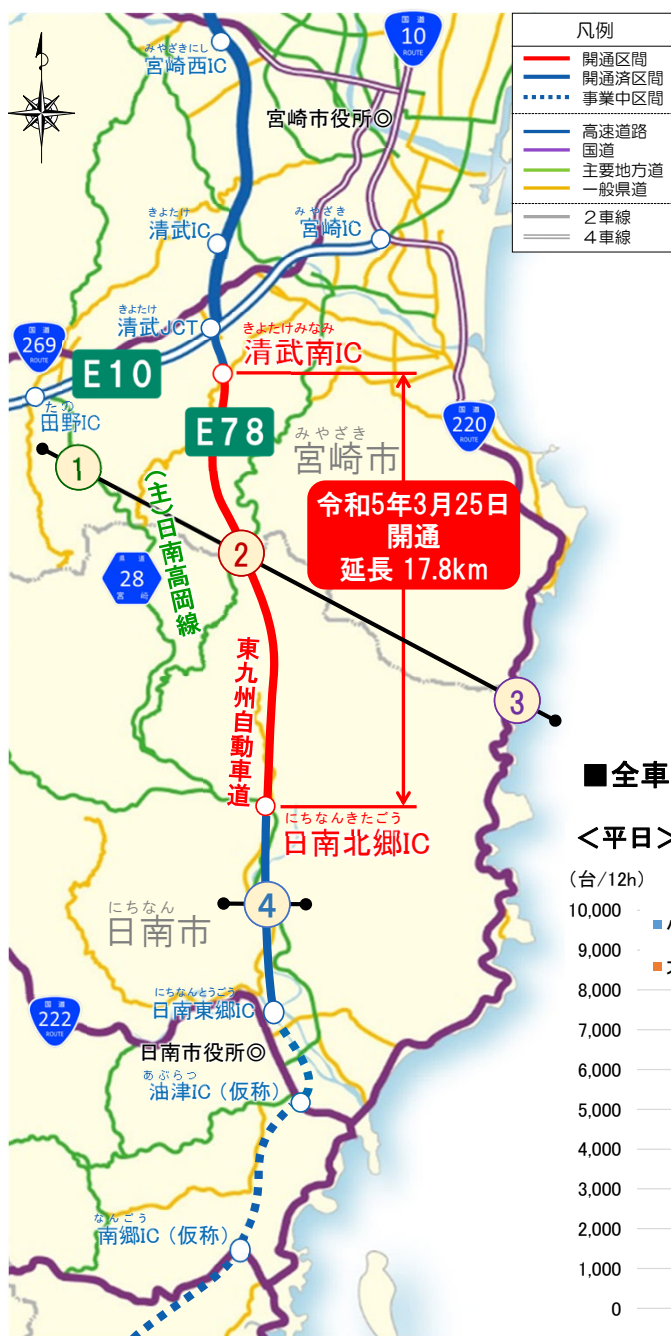
技術副所長 ^{なかしま}中島 ^{のぼる}昇 ^{いしばし}計画課長 ^{たかお}石橋 隆夫

交通状況 交通量の変化

- 宮崎市方向と日南市方向の南北を往来する交通量の約6割が東九州自動車道を利用。
 - ・東九州自動車道(清武南IC～日南北郷IC)の交通量は、7,690台/12h。
 - ・国道220号は、4,350台/12h[35%減(開通前比。以下、同じ)]、県道28号は、987台/12h[74%減]
- 東九州自動車道(日南北郷IC～日南東郷IC)の交通量は、東九州自動車道(清武南IC～日南北郷IC)の開通前と比較して平日は2.3倍に、休日は2.2倍に増加。

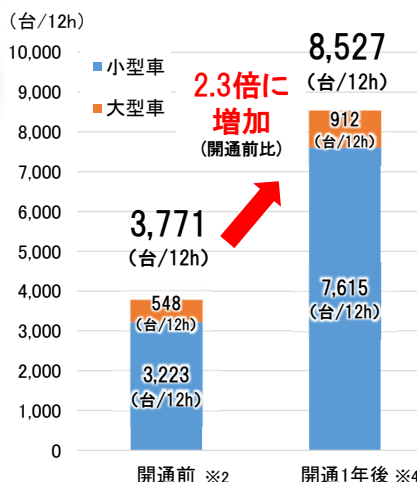
■道路交通状況の変化(宮崎市方向と日南市方向の南北を往来する交通量)

■全車交通量(左図①②③断面交通量)

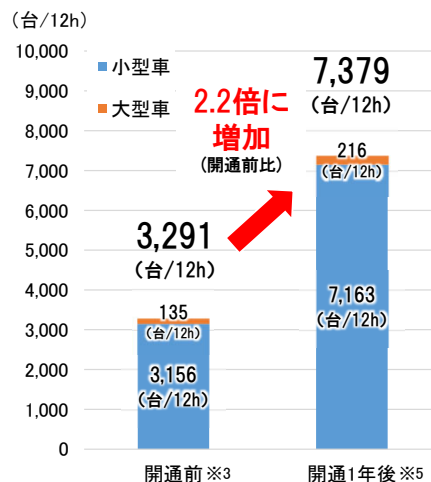


■全車交通量 (日南北郷IC～日南東郷IC) (左図④交通量)

<平日>



<休日>



※1【R3・開通前】

国道220号・県道28号: 令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査一般交通量調査

※2【R5・開通前(平日)】

東九州自動車道: 国土交通省トラフィックカウンターデータ(2023年3月14日(火) 7:00～19:00)

※3【R5・開通前(休日)】

東九州自動車道: 国土交通省トラフィックカウンターデータ(2023年3月12日(日) 7:00～19:00)

※4【R6・開通1年後(平日)】

国道220号・県道28号: 交通量調査結果(2024年3月27日(水) 7:00～19:00)

東九州自動車道: 国土交通省トラフィックカウンターデータ(2024年3月27日(水) 7:00～19:00)

※5【R6・開通1年後(休日)】

東九州自動車道: 国土交通省トラフィックカウンターデータ(2024年3月24日(日) 7:00～19:00)

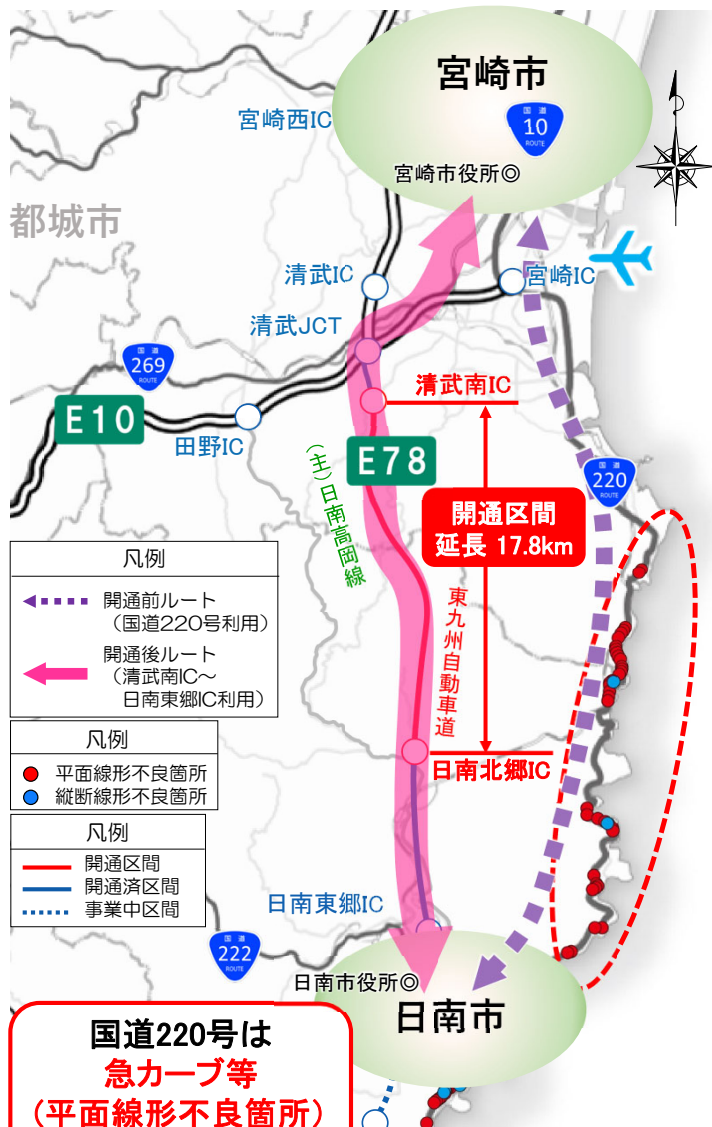
日常生活 良好な通勤環境を実現



○東九州自動車道(清武JCT～日南東郷IC)の整備により、所要時間が往復で約46分短縮、また、急カーブ(平面線形不良箇所)が多い国道220号から走行性・安全性の高い東九州自動車道の利用が可能に。

○これにより、通勤時のドライバーの負荷軽減など良好な通勤環境を実現。

■宮崎市⇄日南市の通勤状況



資料:道路台帳附図
曲線半径150m以下を急カーブとして集計

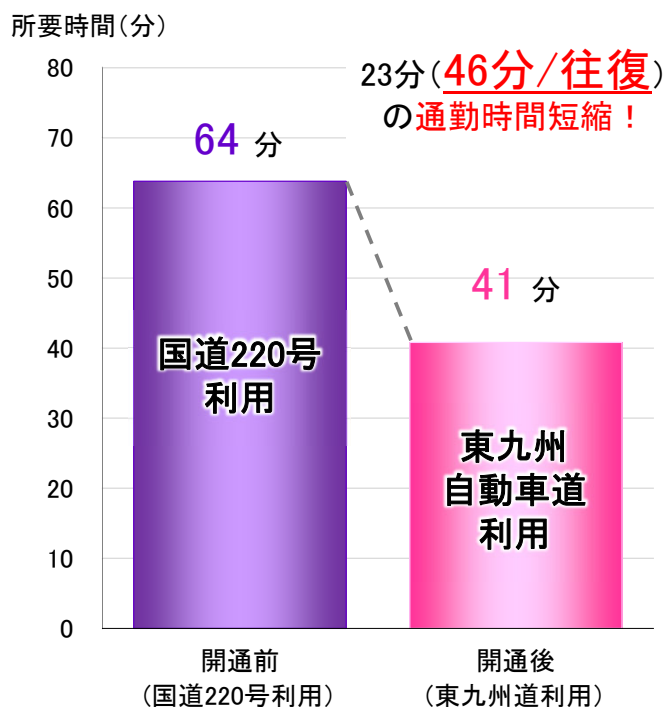
【日南市民のコメント】

- 東九州自動車(清武南IC～日南東郷IC)は無料区間のため、毎日の通勤で利用するのに便利。
- 東九州自動車道のほうが快適に走りやすいため、運転していても疲れにくい。
- 東九州自動車道に交通が転換したことで国道220号も走りやすくなった。



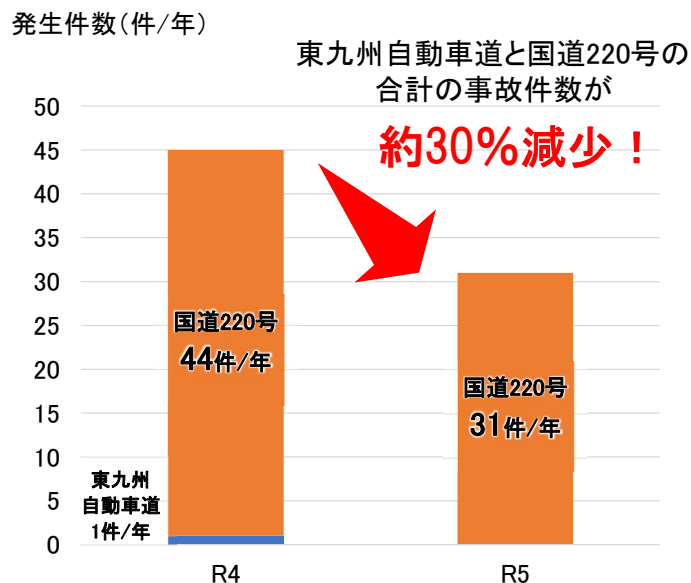
出典:R6.3ヒアリング結果

■宮崎市⇄日南市の通勤所要時間の変化



資料:ETC2.0プローブデータ(宮崎市役所⇄日南市役所)
【開通前】R5.2(平日)24h
【開通後】R6.2(平日)24h

■事故件数の変化



資料:【R4】交通事故統計情報(警察庁)
【R5】R6.3 ヒアリング結果(宮崎県警察本部)

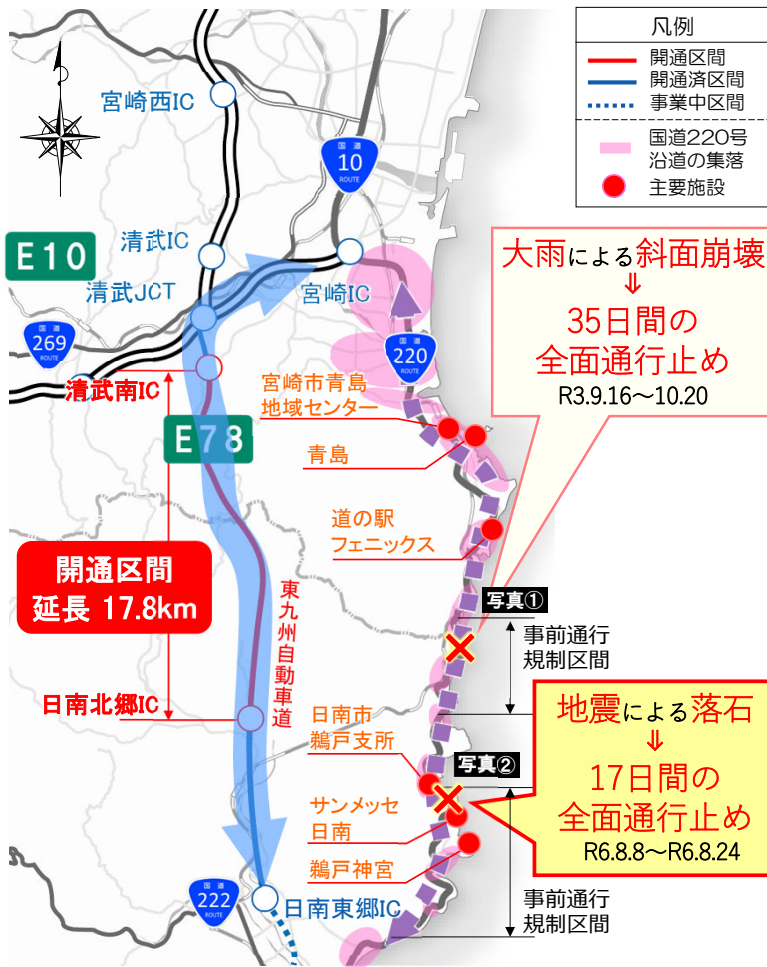
※東九州自動車道:清武JCT～日南東郷IC
国道220号:宮崎IC～国道222号起点交差点

防災力向上 災害に強いネットワークを構築



- 東九州自動車道(清武JCT～日南東郷IC)に並行する国道220号には、異常気象時の事前通行規制区間が存在し、過去15年間で72回の全面通行止めが発生。令和3年9月の斜面崩壊時には、35日間の全面通行止めが発生。
- 令和6年8月8日の日向灘の地震時による落石により、国道220号において全面通行止めが発生。並行する東九州自動車道は大型車交通量が通常時の約3割増加するなど、災害時においても物流輸送が確保され、代替路としての役割を発揮。
- 東九州自動車道(清武JCT～日南東郷IC)の整備により、南海トラフ地震発生時の津波浸水想定区域を回避し、宮崎・日南両市の往来が可能に。

■国道220号の現状



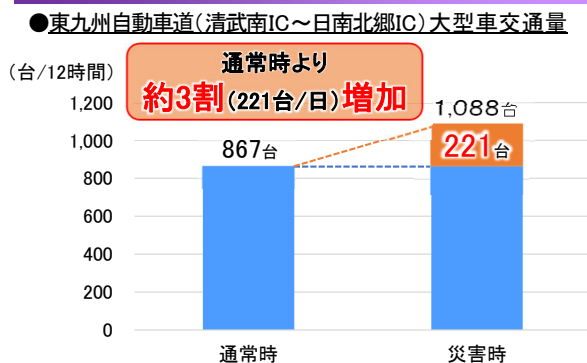
■国道220号における規制発生状況

規制回数 (累計)	72回
規制時間 (累計)	計1,996時間(日換算約83日)
規制理由	斜面崩壊、落石等

※国道220号におけるH21～R5の15年間の実績

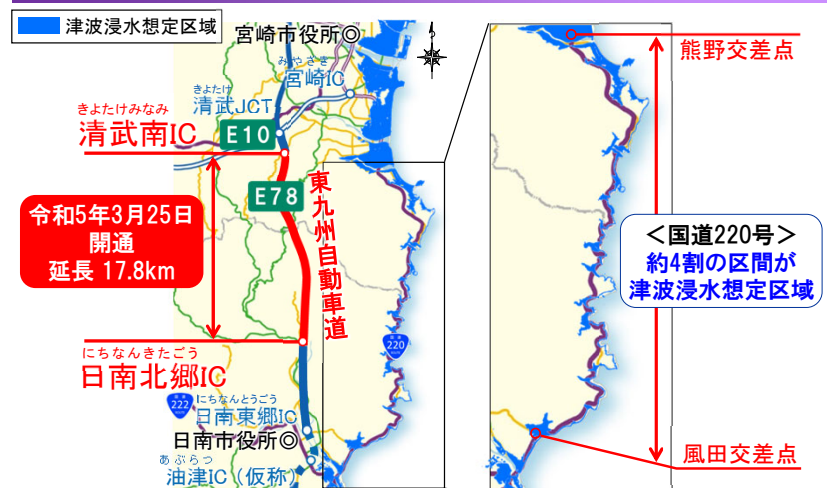


■地震による国道220号通行止め発生時の大型車交通量



資料:国土交通省トラフィックカウンターデータ
【通常時】R6.8.1～7の平日の12h平均
【災害時】R6.8.18～24の平日の12h平均

■津波浸水想定区域を回避したネットワーク構築



- 日南市内の第二次救急医療機関での受入れが困難な場合や、第三次救急医療機関での治療を要する重篤患者は、宮崎市内の医療機関への搬送が必要。
- 東九州自動車道(清武JCT～日南東郷IC)の整備により、日南方面から宮崎方面への緊急搬送の約9割が東九州自動車道を利用、うち約5割が転院搬送による利用。
- 東九州自動車道の整備により、急カーブ箇所を解消し、走行性が向上するなど緊急搬送時の患者の負担軽減に寄与。

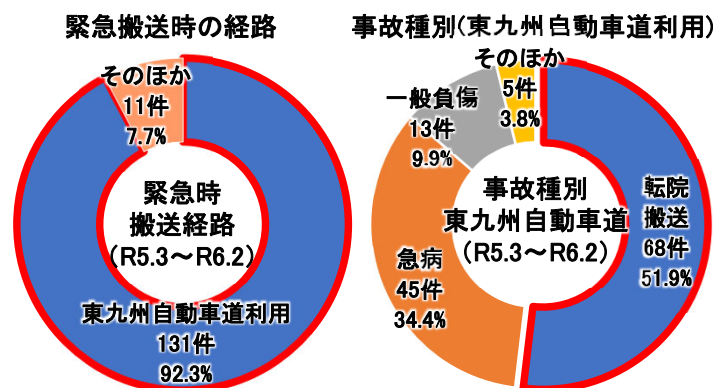
■搬送経路(日南市⇒宮崎市)と 国道220号の線形不良箇所の状況



国道220号(宮崎IC～国道222号起点交差点)
急カーブ等(平面線形不良箇所): 37か所

資料: 道路台帳附図
曲線半径150m以下を急カーブとして集計

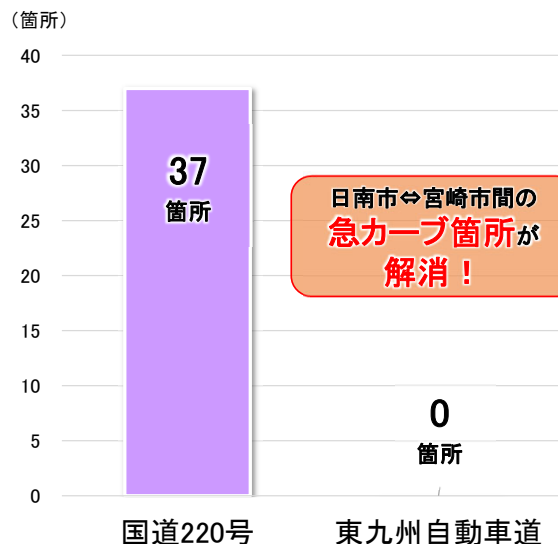
■緊急搬送時(日南市⇒宮崎市)の利用経路と搬送内訳



資料: R6.4 ヒアリング結果

■急カーブ箇所の解消

●日南市⇒宮崎市間の急カーブ箇所数



資料: 道路台帳附図

(日南市消防本部⇒宮崎市内第三次救急医療機関)
設計速度に応じた平面曲線半径に満たない箇所を急カーブとして集計

【消防本部のコメント】

- 日南市街地周辺から宮崎市方面への管外搬送の際は、東九州自動車道を主に利用するようになった。
- 東九州自動車道はカーブが少なく、運転手の安全管理の負担や患者への横揺れの負担が軽減されたと感じている。

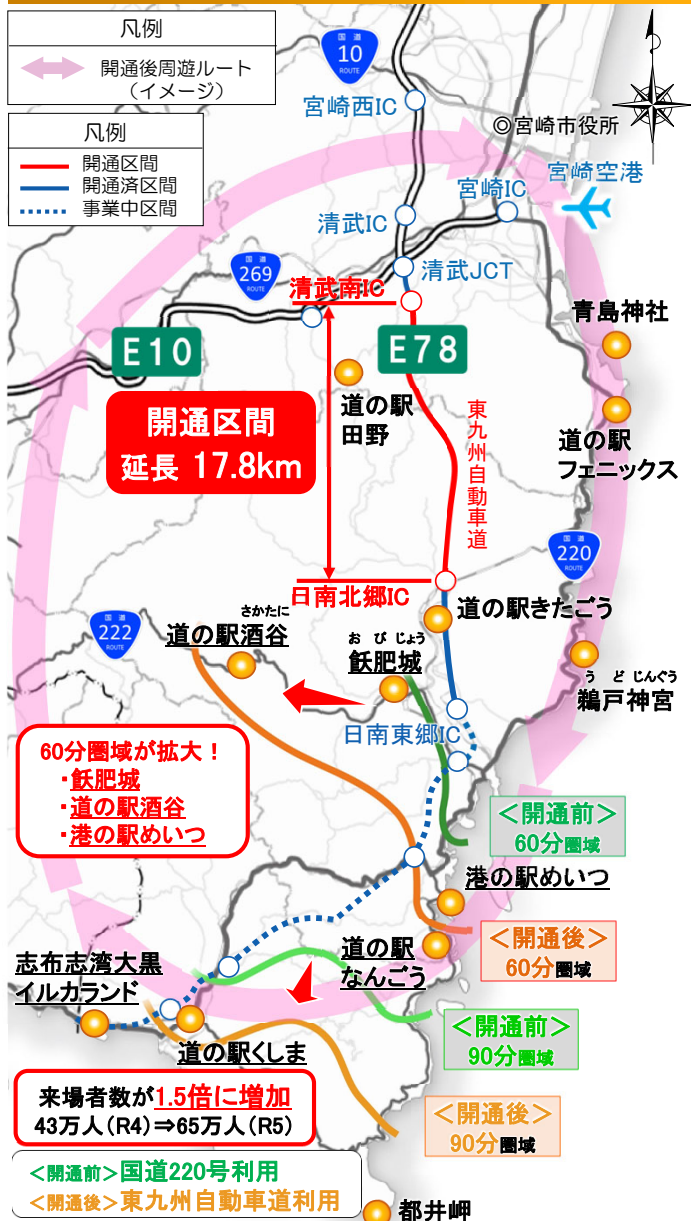
資料: R6.4 ヒアリング結果

観光活性 新たな周遊ルートによる観光の活性化

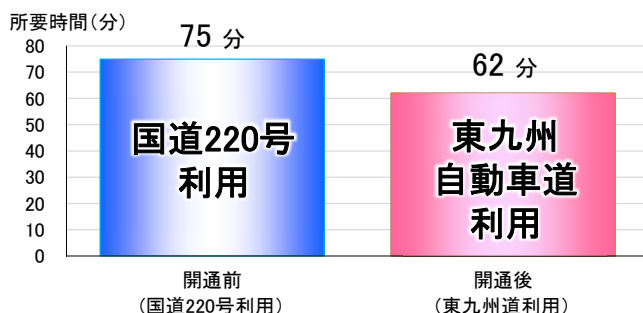


- 宮崎県南地域には、青島神社、鵜戸神宮、飫肥城、都井岬など観光地が多数点在。
- 東九州自動車道(清武JCT～日南東郷IC)の整備により、宮崎市からの約60分圏域が拡大し、「道の駅なんごう」の入込み客数・売上が増加。また、「道の駅くしま」の来場者数は1.5倍に増加。
- 宮崎市・日南市を結ぶ東九州自動車道と国道220号を利用した周遊が可能となり、観光バス会社の利用頻度が向上するなど、県南地域の観光産業の活性化に寄与。

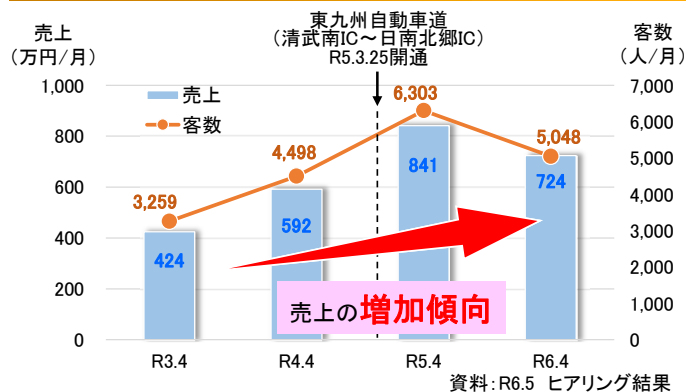
■県南地域の主要観光地アクセス



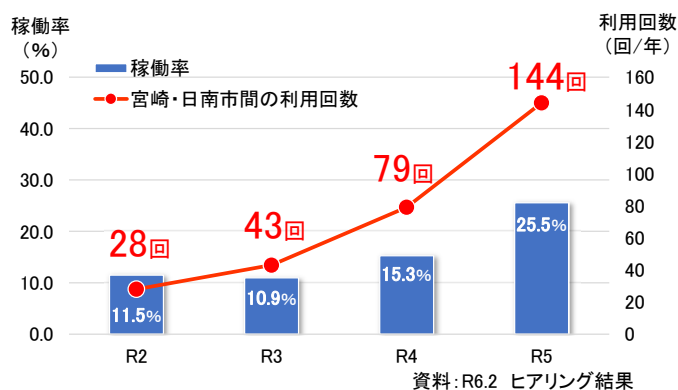
■宮崎市⇄道の駅なんごうの所要時間変化



■道の駅なんごう売り上げの変化



■観光バス会社の便数増加



【観光バス関係者のコメント】

- 東九州自動車道の開通により、観光地の滞在箇所・滞在時間の増加につながっている。
- 往復で異なるルート選定が可能になり、お客様満足度が向上。

【日南市 観光関係者のコメント】

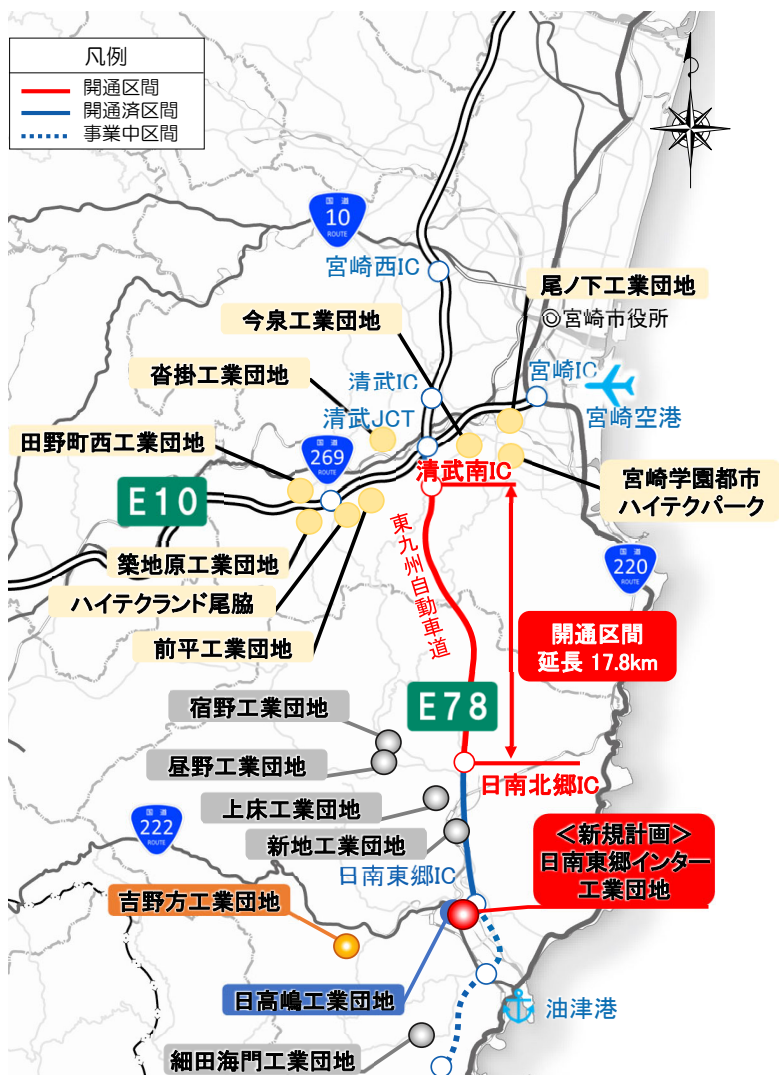
- 通勤などの日常生活での移動が東九州自動車道に移ったことで、観光施設のある国道220号も走りやすくなった。
- コロナ禍も収束し、観光客が戻ってきている。東九州自動車道と国道220号を組み合わせた周遊コースができてきていると感じている。

資料: R6.2 ヒアリング結果

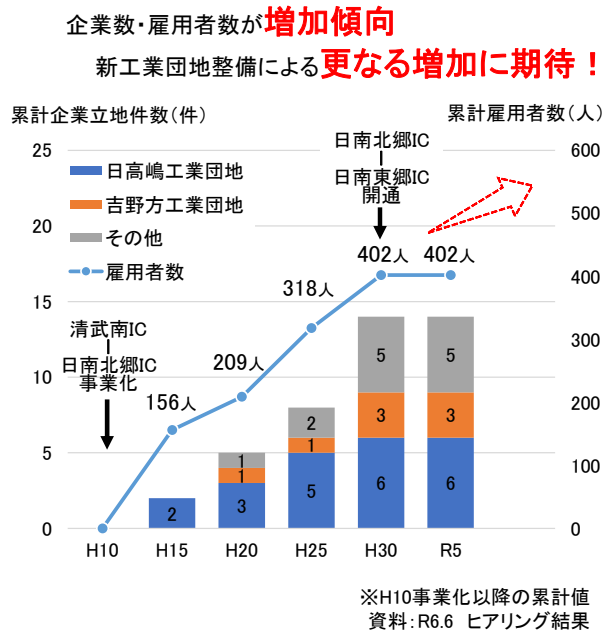
○日南市が日南東郷IC付近に市内最大規模となる約27haの用地に新しい工業団地「日南東郷インター工業団地」を計画。

○東九州自動車道(清武JCT～日南東郷IC)の整備により宮崎市への輸送環境が向上。
新規企業の誘致による産業活性化、交流人口(産業関連)の増加に期待。

■東九州自動車道沿線の工業団地立地状況



■日南市内の工業団地の企業立地数と雇用者数の推移



■日南東郷インター工業団地の概要

計画地
日南東郷IC付近(日高嶋工業団地隣接地周辺)
敷地面積
約27ha うち、有効面積約20ha
アクセス
・日南東郷ICまで200m ・油津港まで7分(約6km) ・清武南ICまで20分(約27km)
事業スケジュール
・R6: 企業誘致開始 ・R9: 造成工事開始 ・R11: 造成工事完了



【日南市 産業関係者のコメント】

- 新しい工業団地には、日南市の強みである一次産業を活かせる企業の誘致を期待している。
- 高速道路開通で宮崎市内からも通勤可能となり、豊富な人材を呼び込めるようになった。交流人口の増加に期待したい。

資料: R6.4 ヒアリング結果